

## 公道初 自動走行の安全を交差点から支援

2020年10月22日

日本信号株式会社

日本信号株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役:塚本英彦)は、福岡県北九州市および苅田町にて、西日本鉄道株式会社および西鉄バス北九州株式会社が実施する「中型自動運転バス実証実験」に参加いたします。

この実証実験は、国立研究開発法人産業技術総合研究所が経済産業省および国土交通省より受託した「中型自動運転バス実証実験」のひとつで、西日本鉄道株式会社、西鉄バス北九州株式会社がバス運行事業者に選定されたものです。また、「信号制御機に接続する無線装置の開発のための実験に関する申請要領」(2018年3月、警察庁)に基づいて実施します。

日本信号では、自動運転バスに対する安全・円滑な自動走行の支援を目的としたシステムを構築し、その有効性に関して技術検証を行います。

当社は、これまで培った交通信号制御技術、センサ技術を活用し、自動運転車両の運行を道路側から支援することで、安全・安心、円滑・快適な移動の実現に貢献して参ります。

### <実証実験の概要>

期間	10月22日(木)～11月29日(日)
路線	朽網駅～北九州空港線 約10.5km

### <安全・円滑な自動走行の支援について>

#### (1) 運転バスの緩やかな信号停止を支援(信号情報提供:10交差点)

交差点へ接近・通過する自動運転バスに、信号の灯色や残り時間をリアルタイム<sup>※</sup>に通知し、青信号から黄信号への切り替わりを予め把握できることで、急ブレーキによる信号停止を防止します。

<sup>※</sup>信号制御機に追加した無線装置によりLTE(4G)回線網を介した直接通信により実現【公道初】

#### (2) 事故防止を支援(危険情報提供:1交差点) 【公道初】

見通しの悪い交差点において、自動運転バスとAI処理によりセンサで検出した車両、自転車、歩行者等との衝突リスクを予測し、自動運転バスへリアルタイムに通知(図1・図2)することで、右左折時の事故を未然に防ぎます。

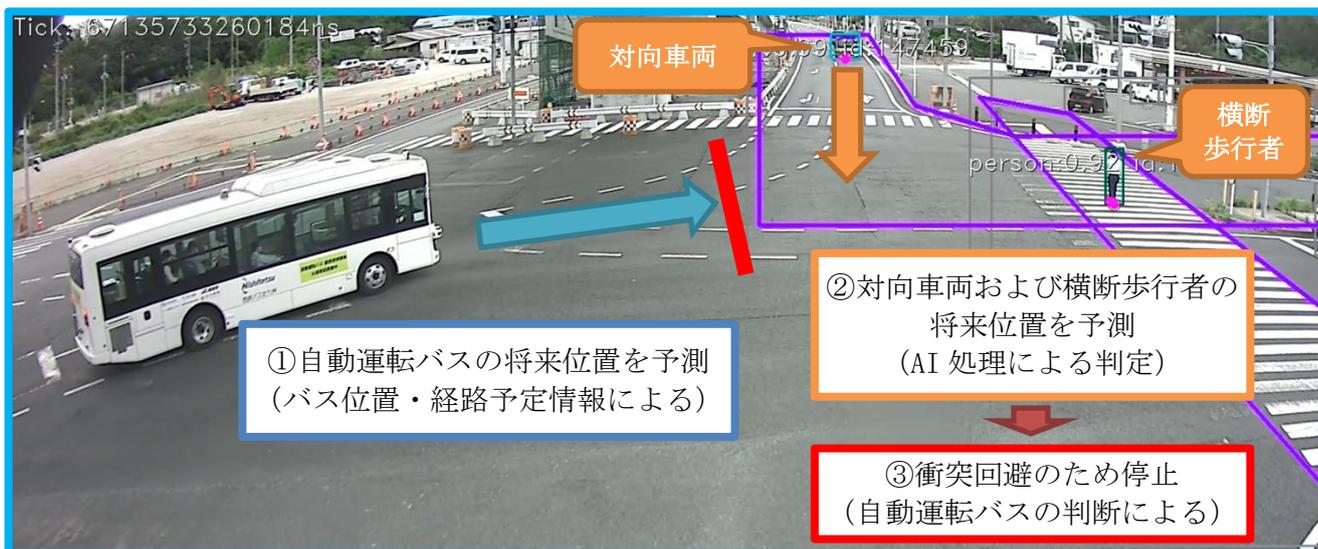


図1. 危険情報提供による事故防止支援の仕組み



図2. 自動運転バス運転席からの視野  
(対向右折車により、対向直進車の有無が確認しにくい状況)

問い合わせ先

日本信号株式会社 総務部

〒100-6513 東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビルディング13階

Tel 03-3217-7200 Fax 03-3217-7300 E-Mail [info@signal.co.jp](mailto:info@signal.co.jp)